令和元年　黒部市教育委員会９月定例会　議事録

日　時	令和元年９月 27 日（金）午後１時 30 分～３時 04 分
会　場	黒部市役所 201 会議室
出席者	教 育 長　中　　義文 教育委員　前田　　潤（教育長職務代理者） 教育委員　加藤　昌弘 教育委員　雪山　俊隆 教育部長　長田　行正 次長・学校教育課長・学校給食センター所長　高野　　晋 生涯学習課長・ジオパーク推進班長　島﨑　　豊 スポーツ課長・フルマラソン推進班長　橋本　正則 図書館長・図書館構想推進班長　中嶋ひとみ 学校教育班長　齊藤　　誠 こども支援課長　藤田　信幸 学校教育課主幹　輿水　一紀 学校給食センター主幹　松平真由美 学校教育課長補佐　前林　丈雄
傍聴人	なし

（会議冒頭「市民憲章」朗唱）

教育長　　只今から、黒部市教育委員会９月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「８月定例会の議事録」について、訂正･質問等がありましたらお願いします。

委員　　教育長が出席された桜井高等学校教育振興会総会について、私自身も別の立場で出席したことがありますが、その会での協議の内容等について教えてください。

教育長　　桜井高校の教育振興会総会について、私は市教育長という立場で出席しました。総会の内容としては、桜井高校が進めている色々な諸活動の中でも市と連携、協力して行うもの、例えばアメリカのメーコン・ビブ郡への高校生の海外派遣事業や、あるいは高校自体が今後どのようなビジョンを描いて進んでいくのかといった学校運営、経営のことなど、一通り説明がありました。主に私が教育長の立場として発言したのは市との連携事業についてでした。さらに踏み込むと、その場では話題に出ませんでしたが、例えば英語サマーキャンプに高校生がボランティアとして参加し、あこやーのまで来て一緒に活動してくれることについての高校側の評価等について、今後の実施も含めての意見交換なども別にあります。そのほか、一般的な財政上の説明などもありました。

委員　　過去に別の立場で出席しましたが、黒部市は小学校から英会話科を設けるなど英語活動に一生懸命取り組んでいるなかで、桜井高校では過去に英語コースを普通科に設けていましたが、これを取りやめた経緯についての説明もありました。やはり、ぜひ小中高の連携というか、そういったものがあればよいと今でも思っています。その時に質問があり回答も聞きましたが、希望する生徒が少ないことや次のステップへのつなぎ方が難しいといった話でした。再び取り組むのは難しいのかもしれませんが、小中で英語の力を高めたものを桜井高校でも伸ばしてほしいと思いますが、そのような話は出ていないのでしょうか。

教育長　　委員が言われたように、桜井高校には過去に国際コースという科としての位置付けがありました。それが、桜井高校での特徴的な取組として大々的な周知が図られていました。しばらくは、いわゆる帰国子女ですとか、そういった生徒も含めて受験されていたようです。その後、徐々に特色がどのようになっていったのか、はっきりとした背景は分かりませんが、結果的に現在は取りやめになっています。ただし、メーコン・ビブ郡との交流、高校生派遣や英語サマーキャンプへのボランティア参加による小学生、中学生との触れ合いなどは現在も続けられていますので、これは維持できればよいと思っています。桜井高校に国際コースがあった頃に、三日市小学校と桜井高校が一緒になって英語の授業を行ったこともありました。今後、できることは何かを探りながら、高校側にも機会があれば働きかけをしていきたいと思います。

ほかに何かありますでしょうか。（なし）

特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。

次に「教育長報告」をいたします。

１　所管事業の状況報告について（行事等）

(1) ９月　７日(土)　中学校体育大会

(2) ９月 10 日(火)　黒部市「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」バレーボール競技事前キャンプ誘致推進事業　米国女子代表キャンプ(～12 日)（総合体育センター）

(3) ９月 14 日(土)　小学校運動会

(4) ９月 16 日(月)　宇奈月モーツァルト音楽祭「10 周年記念感謝の会」（ｾﾚﾈ）

２　出席した会議等の概要報告について

(1) ８月 30 日(金)　令和２年度富山県教育行政に対する要望事項策定委員会（富山市役所）

３　所管事務に関する問題・情報等について（児童・生徒の安全･安心に関すること）

〔前回会議以降、今回会議までの間〕

(1) 児童・生徒の交通事故等

○交通事故（１件）

○その他の事故等（３件）

(2) 不審者情報等（１件）

(3) 鳥獣出没情報（２件）

(4) いじめの認知件数及び指導の経過（８月報告分）

①小学校（新規認知件数１、指導中１、見守り中９、解消４）

②中学校（新規認知件数０、指導中３、見守り中４、解消０）

(5) 令和元年度在籍児童・生徒・園児数（９月１日現在）

①小学校　児童数 2,087 人（前月比１人増）

②中学校　生徒数 1,048 人（前月比１人増）

③幼稚園　園児数　　74 人（前月比　同数）※こども園含む

教育長　　以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員　　（なし）

教育長　　次に議案の審議に移ります。「議案第 15 号　令和元年度黒部市教育委員会事務の点検・評価（平成 30 年度事業分）について」事務局より説明願います。

教育部長　　それでは「議案第 15 号　令和元年度教育委員会事務の点検･評価(平成 30 年度事業分)について」ご説明します。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第１項の規定に基づき実施した令和元年度教育委員会事務の点検・評価について、次のとおりとす

	るということで提出しています。黒部市教育委員会から黒部市教育振興協議会に対し諮問し、答申を受けています。報告書は別冊としてまとめています。最終的には令和元年12 月に作成する予定になっています。目次にはじまり、「Ⅰ　令和元年度教育委員会事務点検・評価実施方針」「Ⅱ　教育委員会の運営状況」「Ⅲ　点検・評価の結果（個別事業シート一覧)」「Ⅳ　学識経験者の意見」を掲載しています。実施方針における趣旨としては、法律の規定により効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、黒部市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施するものです。点検・評価の対象は平成30 年度中に教育委員会で実施した事務事業となります。自己点検・評価基準については５段階の評価でそれぞれ基準を設けています。教育振興協議会への諮問は、教育振興協議会の委員10 名に対して行いました。学識経験者の知見の活用については、本日の審議後、学識経験者から意見をいただくことにしています。そして、その後議会への報告及び公表を行っています。スケジュールとしては、８月27 日と９月10 日に教育振興協議会で審議を受けており、９月27 日、本日議案として提出しています。その後、11 月中に学識経験者等の意見を追加し、12 月の黒部市議会定例会で報告、公表する予定としています。そのほか、教育委員会の運営状況として、教育委員会及び行政組織等について説明を加えています。また、平成30 年度黒部市教育の方針を掲載しています。この方針に基づいて、各事業を自己評価しています。各事業は、「人間性の基礎を培う家庭教育・地域教育」等により区分けをしてまとめています。教育振興協議会において出された意見をいくつか紹介します。「（３）学校訪問」では、「課題・改善」欄に当初は「指導主事の増員等が求められる」と記載していましたが、それについては県教育委員会の所管であり削除すべきではないかとの指摘があり修正しています。「（４）帰国児童生徒・外国人児童生徒教育」について、当初は「入り込み指導」とのみ記載していましたが、専門用語に少し偏っており分かりやすい表現にすべきではないかとの指摘があり修正しています。「（１）学校司書配置事業」について、当初は「図書室は悩みや支援を必要とする児童生徒がクールダウンする場所になっており、学校司書はそういった面でも役に立っている」という趣旨の記載をしていましたが、学校司書の本来の業務ではないということから、十分理解はできるものの記載を見合わせた方がよいのではとの指摘があり修正しています。「（２）情報教育」について、パソコンの種類が分かりづらいとの指摘があり修正しています。「（１）コミュニティづくり推進事業」について、対象となる公民館の名称を記載するとよいのではとの指摘があり修正しています。「（３）立山黒部ジオパーク事業　～世界認定に向けた取組の推進～」について、総合評価をＢとしており、委員からは各種の取組を行っており内容的にはＡでもよいのではないかとの意見がありましたが、一方では条件付き再認定であったのでやはりＢでよいのではないかとの意見もあり、採決の結果、Ｂ評価となりました。「（３）東京2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致推進事業」について、「改善についてホテル側の対応も必要」と記載していましたが、ホテル側の対応について市が言及するのは不適切な面があるのではとの指摘があり修正しています。以上が主な意見となります。なお、評価については、審議の結果、自己評価のとおりとなり特に変更はありませんでした。説明は以上です。
教育長	質問がありましたらお願いします。
委員	総合評価等に関して特に意見はありませんが、「（４）奨学資金貸付・給付事業」について、今年度、事務局も苦労され、工夫して対応されたと思っています。そのため、「今後の方向」欄について、「採択要件等の見直しを図りながら継続していく」とありますが、積極的な記載でも実態に近いのではないかと思うので、例えば「見直しを図り経済的に必要とされる学生・生徒全てに支援が行き渡ることを目指す」というような「全てに」という言葉を入れると目標としてよいのではないかと思います。そこまで記載すると何か問題がありますか。
学校教育課長	就学が困難な学生・生徒に対し全て対応できればとは思いますが、一定の基準を設け

	ましたので、ある程度は対応できるとは考えています。あとは予算上の制約といったものをどうするかといったことがありましたので、今回の表現としています。
委員	要件を経済的要件のみにしてはどうかという思いも私の中にはあります。現在の表現でも構いませんが、よい方向に進んでいることは大変素晴らしいと思いますので、可能な範囲でよろしくお願いします。
教育部長	委員には色々と参画いただきありがとうございます。「今後の方向性」として「制度の改善を図る」といった表現を含め、改めて検討したいと思います。
教育長	制度自体としては継続しますが、中身については改善を図っていきたいと思います。 ほかに何かありますでしょうか。
委員	基本的な事項の確認ですが、令和元年度に点検・評価を行っていますが、事業の内容は平成 30 年度分となります。前年度の内容を本年 12 月に報告書としてまとめ、報告、公表するということは、令和元年度においてはＰＤＣＡサイクルの観点からすると、いかしきれるのかどうか、やはり少し遅い感があり、もっと早くすることはできないのでしょうか。例えば、年度末に早急にまとめ、令和元年度にいかすことができればといったことを、ＰＤＣＡサイクルの観点から思ったところです。少しでも早くならないかという思いがあります。
教育部長	ご指摘の点は理解しており、議会からも意見をいただいたことがあります。報告書の内容として実績として早急にまとめることができる部分もありますが、事業費を取りまとめるという点において、５月末まで出納閉鎖期間があり、その後執行額を確認し決算をまとめるのが６月から７月、その後監査委員による決算審査、そして市議会９月定例会での承認を受けるという流れ、また、並行して黒部市教育振興協議会での審議を受けるというスケジュールからすると、公表という点からこの時期にならざるを得ないという面があります。以前に検討しましたが、やはり厳しいとのことで現在の日程になっています。
委員	色々な制約があることは分かりました。やはりＰＤＣＡサイクルという観点から、これだけしっかりまとめてあるので、次年度の教育委員会の事務にいかせるとよいと思いながら、報告書を読み込んできたところです。
教育長	予算執行状況が確定してからという点が、例えば先ほど話のあった奨学資金の事業にしても、改善して行っていてもそれがはっきりと分からないということにもつながってしまいます。部長から一連の流れについて説明がありましたが、報告書としてはどうしてもこの時期になってしまうとは思いますが、各事業担当者は今後の方向について常に改善を考えながら取り組んでいるとは思います。ただし、それがＰＤＣＡサイクルという点から、また広く周知するという観点からの問題であると思います。
委員	素晴らしい報告書になっていると思うので、また今後も事務にいかしてほしいと思います。それと、読ませてもらって気になる語句等があったので、本会の後、少し話をさせてもらいたいと思います。
教育長	今ほど意見等をいただきましたが、内容としては概ね了解をいただけたものと思います。それでは、議案を採決します。議案第 15 号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。
委員	（異議なし）

教育長	ご異議なしでありますので、議案第15号は、原案のとおり決しました。 次に報告事項に移ります。はじめに「報告第１号　令和２年度保育所・こども園・幼稚園の入所受付について」報告願います。
こども支援課長	それでは「報告第１号　令和２年度保育所・こども園・幼稚園の入所受付について」ご説明します。来年度の入所受付を開始します。申込書配布時期は10月３日(木)から、配布場所は各園、こども支援課、市民サービス課となります。受付期間は10月15日(火)から11月１日(金)としています。受付場所と時間は、各園、こども支援課、市民サービス課において、それぞれ時間を定めて受け付けます。集中受付日と時間についても各園等で設けることにしています。これらについて、市広報10月号、市ホームページ、ケーブルＴＶ等で周知することとしています。説明は以上です。
教育長	質問がありましたらお願いします。(なし) 次に「報告第２号　黒部市議会９月定例会において議決された教育委員会関係議案」について報告願います。
教育部長	それでは「報告第２号　黒部市議会９月定例会において議決された教育委員会関係議案」についてご説明します。これは、地方自治法第96条第１項第８号の規定により議決を求めたものです。目的としては、令和２年４月開校予定の清明中学校の遠距離通学対策を実施するため、大型スクールバスを新たに取得するものです。契約の概要ですが、購入物件は大型スクールバス、契約金額は26,950,000円、契約方法は指名競争入札で６社が応札し落札率は98%でした。契約の相手方は富山いすゞ自動車株式会社新川営業所、納期は令和２年３月26日までとしています。取得財産の概要として、車名・型式、車両寸法、座席数、主要装備を記載してあります。説明は以上です。
教育長	質問がありましたらお願いします。(なし) 次に「報告第３号　黒部市議会９月定例会一般質問・答弁要旨(教育委員会関係)」について報告願います。
教育部長	それでは「報告第３号　黒部市議会９月定例会一般質問・答弁要旨(教育委員会関係)」についてご説明します。９月定例会では９名の方から質問を受けました。 自民クラブの代表質問として伊東議員から、二点目の「教育」について、一つ目は「本年度の全国学力・学習状況調査の結果」、二つ目は「国際化教育の一環として実施してきた英語教育の効果」、三つ目は「中学校の統合による全国学力・学習状況調査への影響」、四つ目は「中学校の統合による環境の変化への事前対策」、五つ目は「不登校の要因の把握」、六つ目は「自殺防止に向けた具体的な対策」との質問があり、それぞれ答弁しています。 続いて、小柳議員から、二点目の「公共施設マネジメント」について、「(仮称)くろべ市民交流センターにかかる公共施設マネジメントにおける連携」との質問があり、答弁しています。三点目の「スクールバスの利活用」について、一つ目は「統合中学校の遠距離通学対策の経費」との質問があり、「令和２年４月の清明中学校・明峰中学校の開校に伴い、今年度、５台のバス車両を購入することとしており、その購入費として当初予算に6,535万１千円を計上し、国庫補助を活用して整備する。また、運行費として委託料などで年間4,700万円程度、電車通学の定期券補助で1,100万程度を見込んでおり、合わせて5,800万円程度になるが、財源として国庫補助と普通交付税による財政措置がある。」と答弁しています。二つ目は「スクールバスの利用方法」との質問があり、「登下校の利用と休日や長期休業中における部活動のための移動などに使用する予定である。」と答弁しています。三つ目は「スクールバスの公共財としての利活用」という質問があり、「今後、高齢者の移動手段の確保の支援を図る観点からも、道路運送法等の関係

法令や安定的な運行体制の構築、通学に支障を生じさせない運行管理の在り方などの課題について整理するとともに、公共交通の利用者や関係者の意見も聞きながら研究を深めていきたいと考えている。」と答弁しています。

続いて、谷村議員から、一点目の「登下校時の児童生徒の安全確保」について、一つ目は「登下校における危険箇所の点検の実施状況」との質問があり、答弁しています。二つ目は「清明中学校の想定される登下校経路の把握や整備状況」との質問があり、「鷹施中学校エリアの生徒のうち、自転車や徒歩での通学で多くの生徒が市道生地石田線を利用すると考えており、歩道整備や防犯灯の設置を進めているところである。この他、石田地区の県道魚津生地入善線「岡交差点」については、道幅が狭く、県への重要要望において、交差点改良の要望箇所の一つとしていることから、引き続き、県と協議を行っていきたい。」と答弁しています。三つ目は「登下校経路についての保護者との相談時期と通学経路としての決定までの計画」との質問があり、「今年度に関しては、できるだけ早い時期に、学校統合に当たっての概要説明を実施したいと考えている。」と答弁しています。四つ目は「本市の防犯対策に関する考えや課題」、五つ目は「通学経路やスクールバス乗降場への防犯カメラの設置」との質問があり、それぞれ答弁しています。

続いて、辻靖雄議員から、一点目の「(仮称)くろべ市民交流センター」について、計10件の質問があり、教育委員会所管分である９件の質問要旨として、一つ目は「基本設計者の決定のプロセス」、二つ目は「当センターのすべての金額の見通し」、三つ目は「北陸銀行跡地の購入計画」、四つ目は「人の歩く動線と車の流れの確保」、五つ目は「図書館の移転メリット」、六つ目は「三日市公民館の機能の発揮」、七つ目は「子育て支援センターの移転メリット」、八つ目は「機能複合施設としての職員の配置計画」、九つ目は「駐車場及び停留場の確保」との質問があり、それぞれ答弁しています。

続いて、柳田議員から、一点目の「(仮称)くろべ市民交流センター」について、一つ目は「市民交流センター管理運営計画の特筆すべき内容とオープンまでのスケジュール」、二つ目は「開架図書と閉架図書の予定冊数及びその内児童図書数の予定と現行の冊数」との質問があり、それぞれ答弁しています。三つ目は「基本設計で示す多目的ルームの部屋数と各施設による専用利用」との質問があり、「多目的ルームについて、十分な余裕を持てるよう規模と室数を検証したところであるが、オープン当初は予約が集中することが推測されることから、予約管理において柔軟に対応できるよう進めていく。また、利用形態は全て共用としており、恒常的な専有はできないが、別途方策を検討している。」と答弁しています。四つ目は「センター内の各施設の開館日・開館時間の乖離に伴う問題、周知。自主サークル活動にかかる理解」、五つ目は「具体的な路線バス計画の検討」、六つ目は「センターのオープンに向けての市長の思い」、二点目の「北方領土返還要求に向けた取り組み」について、「高志野中学校にある北方領土資料室の現在の利用状況や統合後の取扱い」との質問があり、それぞれ答弁しています。

続いて、中野議員から、一点目の「教員の業務軽減のためＰＴＡ事務局の学校分離」について、「ＰＴＡ事務局を中学校(教員)と分離できないか」との質問があり、「ＰＴＡ連絡協議会の事務局は、会長が所属する中学校に置かれており、事務局のある中学校の教員が学校の業務に加え、ＰＴＡ連絡協議会の業務の多くを担っている。来年度には、統合中学校が開校し、新しい教育活動が展開されるなか、日本ＰＴＡ全国研究大会富山大会が黒部市でも開催されることなどから、事務局の業務量が増加すると伺っている。ＰＴＡ連絡協議会の事務を学校から離れた場所で行うことは、教員との連絡調整の必要性から困難と考えている。今後の対応については、富山県ＰＴＡ連合会や富山県教育委員会などとも連携しながら、具体的に相談していきたいと考えている。」と答弁しています。

続いて、大辻議員から、三点目の「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」

	について、「認知症ジュニアサポーター養成講座は希望校が受講するということだが、多くの子供たちに受講できる機会を設けてほしい」との質問があり、「平成30年度に３校、今年度は村椿小学校において実施している。」といった現状を含め答弁しています。 続いて、成川議員から、一点目の「住み慣れた地域で安心して生活が出来る社会の実現に向けて」について、一つ目は「本市のいじめ認知件数をどう見ているか」との質問があり、答弁しています。二つ目は「本市において「子ども権利条例」の制定を検討しては」との質問があり、「子どもの権利条約は、1989 年に子供の基本的人権を国際的に保護するために定められた条約である。」といった前段部を含め答弁しています。 続いて、橋本議員から、二点目の「(仮称)くろべ市民交流センター」について、「土地の取得と新たな駐車場設置の必要性とそれによる費用は」との質問があり、答弁しています。 説明は以上です。
教育長	質問がありましたらお願いします。
委員	(仮称)くろべ市民交流センターについて、段々現実味を帯びてくると、ハード面からソフト面に話が移り、市民の関心もそちらに移ってくると思います。以前にも質問したことがあるのですが、中核が図書館とするならば、それを例として話すと、図書館司書を実際に増やしていくといった今後の動きのようなもの、今後ソフト面を運用するのはそういった専門職の方々が中心になって計画されると思うのですが、現在、司書は２人でよかったでしょうか。
図書館長	正規職員で２人、嘱託職員で１人です。
委員	その人数で足りているのでしょうか。また、職員の年齢層、他の組織でも困っている点だと思いますが、構成メンバーの年齢層がバランスよく配置されていないと、後々活動がしっかりと引き継がれないなどの問題があると思います。長期的な採用計画などを含めて、せっかくよいものが整備される方向に動いているので、あわせて、ソフト面、それを支える人材の心配も考慮して、対応してもらえればと思います。実際に形ができたのに、うまく動いていかないということがあってはよくないと思うので、今後また検討してもらいたいと思います。交流センターの話がたくさん出ていたので、意見として言いました。
教育部長	色々とありがとうございます。私どももその点については考えており、総務課と協議しているところです。
図書館長	今ご意見をいただきましたが、司書の資格を有する職員は主査と係長の２人です。年代的にも、この後、若手の後継としての職員を育成する時期にきていると思います。司書資格は業務に対する基礎的な知識ではありますが、業務を遂行するなかで、実務経験を積んで成長するという部分もありますので、センターが完成して、５年、10年後を担う職員を育てることが急務であると認識しています。人事担当課と今後も協議をしていきたいと思います。
教育長	ほかに何かありますでしょうか。
委員	中野議員の質問である市Ｐ連の事務局について、関係者が持っているイメージは同じ部分もあるのかもしれませんが、市Ｐ連としての考え方、学校としての考え方、市教育委員会としての考え方を整理して、それぞれ教えてください。

教育長	これについては、私が答弁していますが、答弁に至るまで、色々な話を、学校や議員、市Ｐ連の会長とも行う機会がありました。私達が一番心配したのは、働き方改革や子どもと向き合う時間を確保するための多忙化解消という考え方を基に、言葉は悪いですが、丸投げというか、ＰＴＡの業務を全部どこかの第三者機関がやってくれるというような窓口を作ってくれという話であれば、それはおかしいだろうということです。ＰＴＡのうち先生であるＴが抜けると、組織としてはいびつであると思います。こういった話をしたところ、丸投げという気持ちは、関係する方々は持っておられませんでした。学校、主に教頭がどのような業務をしていたかを確認し、それらをどのように役割分担ができるか、自助努力でどのようにできるかを考えていく必要があると思います。中身や流れを含めて、しっかり取り組む必要があるということです。委員の質問に対する答えになっているかは分かりませんが、市Ｐ連も関係者も丸投げするという気持ちではありません。ただし、このような状況であるので、何らかの改善策を取っていくための第一歩にしたいとの思いです。現在の事務局としてもできることを一緒に取り組んでいくという姿勢で、具体的な内容はこれから調整していくということですが、市教育委員会としても具体的な形となるよう、これからも話し合いを続けていきたいと思います。
委員	分かりました。
教育長	ほかに何かありますでしょうか。（なし） 次に「報告第４号　課等の事業報告（経過・予定）について」報告願います。
学校教育課長	〔経過事業〕 ○８月 27 日　黒部市教育振興協議会（点検・評価審査１回目） ○８月 29 日　市議会学校統合及び跡地利用対策特別委員会現地視察 ○８月 30 日　小中学校長研修会 ○８月 30 日　令和２年度富山県教育行政に対する要望事項策定委員会 ○９月　２日　２学期始業式 ○９月　２日　黒部市議会９月定例会（～25 日） ○９月　７日　中学校体育大会 ○９月 10 日　黒部市教育振興協議会（点検・評価審査２回目） ○９月 14 日　小学校運動会 ○９月 27 日　教育委員会９月定例会 〔予定事業〕 ○10 月　４日　教育委員会研修視察 ○10 月　４日　姉妹都市交流研修事業メーコン・ビブ郡学生受入（～12 日） ○10 月　７日　小中学校長研修会 ○10 月　７日　市町村教育委員会研究協議会（～８日） ○10 月 15 日　学校訪問：通常訪問研修（さくら幼稚園） ○10 月 19 日　中学校合唱コンクール（鷹施中学校） ○10 月 23 日　教育委員会連合会第２回研修会 ○10 月 24 日　教育委員会 10 月定例会 ○10 月 25 日　黒部市小学校音楽会（５、６年生） ○10 月 26 日　中学校合唱コンクール（高志野中学校） ○10 月 26 日　中学校合唱発表会（宇奈月中学校） ○10 月 30 日　学校訪問：通常訪問研修（荻生小学校）

○10 月 31 日　学校訪問：通常訪問研修（若栗小学校）

生涯学習課長

〔経過事業〕
○８月 28 日　特別展現地研修会第１回「十二貫野用水ー先人の知恵と用水のしくみー」
○９月 14 日　湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月（～16 日）
○９月 16 日　宇奈月モーツァルト音楽祭「10 周年記念感謝の会」
○９月 18 日　第９回シアター・オリンピックス「いのちの旅」（８月 23 日～）
○９月 27 日　石川県津幡町教育委員会視察

〔予定事業〕
○９月 28 日　黒部市ＰＴＡ連絡協議会「親学び講座」
○10 月　５日　市指定無形民俗文化財「愛本新用水天満宮松明祭」
○10 月 11 日　吉田科学館運営会議
○10 月 12 日　風間サチコ展オープニングセレモニー
○10 月 13 日　公民館まつり（村椿）（～12/15 まで各地区公民館にて開催）
○10 月 23 日　秋のさわやか運動（～25 日）
○10 月 25 日　第 14 回黒部市芸術祭　黒部市美術展（～29 日）
○10 月 26 日　第 14 回黒部市芸術祭　黒部市美術展　表彰式
○10 月 26 日　市指定無形民俗文化財「生地たいまつ祭り」

スポーツ課長

〔経過事業〕
○９月 10 日　黒部市「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」バレーボール競技
事前キャンプ誘致推進事業　米国女子代表キャンプ（～12 日）
○９月 15 日　カターレ富山市町村サンクスデー（黒部市の日）
○９月 19 日　第 74 回国民体育大会秋季大会黒部市出場監督・選手激励会

〔予定事業〕
○10 月　５日　姉妹都市スポーツ交流事業根室市派遣（～７日）
○10 月　５日　日本女子ソフトボールリーグ富山大会（～６日）
○10 月　６日　秋季区民体育大会
（生地・石田・田家・村椿・大布施・三日市・前沢・荻生・若栗・東布施・浦山・下立）
○10 月 14 日　エブリバディスポーツデイ 2019
○10 月 19 日　ＫＵＲＯＢＥアクアフェアリーズホームゲーム
○10 月 20 日　第 14 回市民体育大会陸上（大運動会）

図書館長

〔経過事業〕
○９月　７日　「あなたの大切なひとのいのちをまもりましょう～日頃の気づきと
声かけを～」（～10 月６日）
○９月 27 日　「知っ得！！　がんのこと」（～10 月 27 日）

〔予定事業〕
○９月 29 日　出前講座「こころの健康づくり」
○９月 29 日　読み聞かせボランティア研修会
○10 月　１日　社会に学ぶ「14 歳の挑戦」受入（～５日）
○10 月　４日　出前相談室

○10 月 18 日　出前相談室
○10 月 19 日　「黒部富山ゆかりの作家展」（～11 月 24 日）

学校給食センター所長

〔経過事業〕
○９月　２日　第２学期学校給食開始
○９月　６日　黒部地場産学校給食の日（第２回）
○９月 18 日　学校給食訪問
○９月 26 日　ジオパーク給食

〔予定事業〕
○９月 30 日　社会に学ぶ「14 歳の挑戦」受入（～10 月４日）
○10 月　２日　黒部地場産学校給食の日（第３回）
○10 月 31 日　学校給食指導者研修会
○10 月 31 日　富山県学校給食研究協議会

こども支援課長

〔経過事業〕
○９月　２日　２学期始業式
○９月 14 日　小学校運動会参加（５歳児）【生地こども園】【石田こども園】

〔予定事業〕
○９月 28 日　ふれあい運動会【生地こども園】
○９月 28 日　なかよし運動会【石田こども園】
○９月 28 日　親子運動会【さくら幼稚園】
○９月 30 日　社会に学ぶ「14 歳の挑戦」受入（～10 月４日）
○10 月　３日　歩こうの集い（４歳児祖父母参加）
○10 月　４日　越之湖訪問（５歳児）【石田こども園】
○10 月　４日　世代間交流　エコライフ教室（３歳児祖父母参加）【生地こども園】
○10 月　９日　秋の遠足（３～５歳児）【生地こども園】
○10 月 10 日　遠足（４、５歳児）【石田こども園】
○10 月 15 日　学校訪問：通常訪問研修【さくら幼稚園】
○10 月 16 日　遠足【さくら幼稚園】
○10 月 18 日　遠足（３歳児）【石田こども園】
○10 月 23 日　自動車学校　交通安全教室（４歳児）【石田こども園】
○10 月 26 日　公民館まつり（５歳児参加）
○10 月 28 日　５歳児親子陶芸教室【さくら幼稚園】

教育長

質問があればお願いします。

委員

昨年の反省と言いますか、少し引っかかっていたことを思い出したのですが、今回も「14 歳の挑戦」が９月 30 日から 10 月４日まで行われるとのことで、以前に事故等があったときに、事業所の意識というか考え方により、タクシーを呼んだことがあったかと思います。学校から事業所へ案内状がすでに送付されているのかもしれませんが、最終的な連絡として、少なくとも首から上のけがや複雑骨折などの場合は、タクシーではなく救急車による搬送を徹底してほしいと思います。少しでも心配であれば、救急車でお願いしたいと思います。このことについて、現在はどのようになっていますか。

教育長	昨年の例を踏まえて、何か具体的に対応したことはありますか。
学校教育班長	救急車の搬送については、事故の経緯について、首から上の場合、交通事故の場合などは必ず救急車を呼ぶように、迷った場合などを含め、そのような対応を学校に案内しましたが、事業所にまでは改めて周知されていない可能性もあるので、こちらから学校に指示をしたいと思います。
委員	学校から確実に事業所に伝えてほしいと思います。
教育長	徹底した対応について、学校から伝えるか、または教育委員会から伝えるかを含め、しっかりと考えたいと思います。 ほかに何かありますでしょうか。（なし） 次に、「連絡事項等」についてお願いします。
学校教育課長	（今後の日程について確認） ○教育委員会 10 月定例会　【日時】10 月 24 日（木）午後１時 30 分 【場所】市民交流サロン１ ○教育委員会 11 月定例会　【日時】11 月 28 日（木）午後１時 30 分 【場所】市役所 201 ○黒部市総合教育会議　【日時】11 月 28 日（木）午後３時 30 分 【場所】市役所 201・202 ※総合教育会議に向けた事前打合せの開催を予定
教育長	全体を通して、何かありますでしょうか。（なし） 以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和元年 10 月 24 日

署名人　黒部市教育委員会　教育長　　中　　義　文